



峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2737
 FAX 0553-20-2733

回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email: saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

最後の試合を前にして

ここに一枚の写真があります。

当時、高校3年の息子が明日の試合に備えて、黙々とサッカースパイクの手入れをしている写真です。背中を丸めてうつむき加減に、いつもより念入りに手入れをする様子から、明日の試合が息子にとって特別な意味を持っているのだということが伝わってきました。

それにしても、いつもと違って近寄りたく、声をかけるのもためらわせるような雰囲気があります。何か自分自身に言い聞かせているような、スパイクを通して自分の内面と向きあっているような様子が、近寄りたく感じさせるのかも知れません。

高校に入ってからというもの公式戦に出場する機会は、数えるほどしかありませんでした。明日もスタートメンバーとして出場することはまずないでしょう。

いつものように、ベンチで声をかけたり、選手にタオルや水を差し出したりする姿が思い浮かびます。それにもかかわらず、いつか監督から呼ばれることを期待して、ボールを追いかけフィールドを駆けめぐる自分の姿を思い描きながら、息子はスパイクを磨くのです。

早朝・放課後や休日、合宿や遠征と、何があっても練習を休むことはありませんでした。

小学校や中学校時代に比べて、選手層が厚くなり、競技レベルが上がったのだからしょうがないとは思いつつも、父親にすれば今ひとつ納得できませんでした。息子が出場しない試合は、チームが勝っても負けても心からの感動を実感することができません。

3年に進級する頃になると、父親はそんな報われることが少ない部活動を続けるよりは、勉強に力を入れた方が良いのではと話をしましたが、息子は父親の意見を受け入れようとしませんでした。

そんな葛藤の日々が明日で終わるのです。10年間続けてきたサッカー中心の生活に、区切りをつけようとする息子の決意を父親は感じ取りました。

父親は、レンズを通して、スパイクの手入れをする息子の姿を見つめながら、今さらながら思い至るのでした。父親の期待に対して、報われることの少ない活動と知りつつ、意志を貫こうとする葛藤に苦しんできたのは息子自身であったことに。

あれから9年経ちました。今は、県外で会社勤めをしています。時々、帰省しても家で過ごす時間はほんのわずかしかなかった。大半は、中学・高校時代のサッカー部の仲間が集まって、広場でボールを蹴り、その後、食事や温泉に行き、さらに友だちの家に寄り込んで語り明かします。

かつてレギュラーであったかサブであったかは関係ありません。当時、同じ目標に向かって活動し、笑い、泣き、悔しさを共にした者同士だけが理解し合える場です。

息子は当時、そのことに気が付いていたのかもしれませんが。少年期に同じ活動を通して集まった仲間が、将来何ものにも代えがたい友だちになるということ。



「一日教育委員会」開催

山梨県教育委員会は、9月9日(水)甲州市民文化会館で一日教育委員会(教育懇談会)を開きました。峡東管内のPTA関係者をはじめ教育に関心を持つ方々約100名と、県教委からは教育委員長をはじめ、教育委員、各課課長等の出席があり、活発な意見交換がなされました。

まず、県教委が「確かな学力ステップアップ事業」「いじめ・不登校対策事業」など、本年度の主要施策を説明しその後出席者から多数の質問や意見が出されました。

出席者からの意見、感想の一部を紹介します。なお、教育懇談会は年2回開催しています。

「良かった」という意見

- ・ 日頃感じていること、質問や意見を交換し合える貴重な会だった。
- ・ 県の教育行政に直接意見が言えて良かった。開かれた県政を感じるので今後も続けてほしい。

「改善について」の意見

- ・ もっと地域を限定して実施することで、より現実に近い意見が出るのかなと思う。
- ・ 意見交換会のQ&Aをまとめて配布していただけたら、PTAの方々も、もっと耳を傾けてくれると思う。

教育全般について個別意見

- ・ 不登校と、携帯などのメール対策を引き続きお願いしたい。
- ・ 学力向上のために、豊かな心を育む教育が必要だと思う。

山梨の教育について個別意見

- ・ 家庭が基本。学校でよい花を咲かせ、社会で実を付けると思う。
- ・ 教育プランの中に「農業」に対する取り組みがなかったことが残念。せっかく豊かな畑が多い山梨の農業に、子どもの頃から四季折々にふれさせる項目があっても良い気がする。

その他についての個別意見

- ・ 息子が笑顔で「今日、先生と放課後サッカーをした。楽しかった〜。」こういう笑顔がうれしい。生徒とのふれあいを大切にしてほしい。



討議の様子

『うんどうかい』にむけて



秋は運動会の季節です。10月上旬、峡東管内の保育園では運動会の練習が真っ盛り。甲州市の泉保育園では、園児全員が遊戯「チキチキバンバン」や、紅白に分かれて行う「玉入れ」を練習していました。この日は、紅組の勝ちでした。

また、山梨市の八幡保育園では、障害物競走、遊戯「ヤッターマン」、カラーガードによる演技を本番さながらに練習していました。笛吹市の英保育園では、17日の運動会に向けてマーチングバンドの練習をしていました。「オペラ座の怪人」、「ベストフレンド」、レミオロメンの「SAKURA」を、ドラムマーチやカラーガード、ダンスで質の高い表現を本番さながらに演じていました。



青・白・赤のカラーガード



玉入れ競技



ドラムマーチ、カラーガード、ダンス



NPO 法人「学びの広場ふえふき」の活動

「学びの広場ふえふき」は、平成19年10月に設立され、笛吹市を中心として、児童生徒の健全な育成のための支援活動、地域教育・家庭教育への支援活動、教員の資質や指導力向上の支援活動などを行っています。



「児童生徒の健全な育成のための支援活動」では、定期的に、富士見小学校と石和西小学校で「放課後子ども教室」を、また、学校の要請により少人数学級のための支援等を行っています。

放課後子ども教室は、対象児童4・5・6年生、「復習教室」と「体験教室」の2つの形態があって、「復習教室」では算数・国語の復習や各自の課題学習を行います。

また、「チャレンジ富士見」と題した体験教室では科学工作、横笛、絵画、茶道、料理、パソコン、ベタンクなどを行っています。10月は、グラウンドゴルフ教室、折り紙教室、昔話教室を計画していますが、その都度、「チャレンジ富士見」通信で紹介して参加者を募集します。

昨年度の活動実績は、年間42回、588時間、参加児童数は延べ2113人に及びました。なお、石和西小学校においては年間40回、560時間、参加児童数は延べ2385人でした。



横笛教室



宿題の後、折り紙



今回、富士見小学校における「放課後子ども教室」の活動取材する機会を得ました。取材に訪れた日には、午後4時から復習教室が始まりました。場所は西館と呼ばれる教室です。

4年生11人、5年生4人の児童に対して、「学びの広場ふえふき」からは曾根修一理事長をはじめとする6名のスタッフが学習支援にあたりました。

最初、各自宿題を行い、学習課題を見つけた人はスタッフの指導を受けながら、より深い内容の勉強をしていました。宿題が終わった人は、数独パズル、オセロや将棋、折り紙、漢字書き取りゲームなどをスタッフと共に、また、友だち同士で行っていました。

午後5時に、市川将満先生から今日の活動について評価していただいた後、あいさつを交わして終了。地区毎にスタッフの先生方の付き添いで帰っていきました。



「地域教育・家庭教育への支援活動」では、笛吹市の各地域を巡って、地域の歴史・文化を学ぶ、環境美化の実施、参加者の交流、通学路の危険箇所の把握等の活動を行っています。

一宮地区における甲斐国分寺の見学や金川の森公園周辺の清掃活動を皮切りとして、石和地区では鵜飼山遠妙寺と八田家書院の見学、御坂地区では美和神社と姥塚古墳見学および見学通路の清掃を行いました。

10月31日(土)には、春日居地区で寺本廃寺、笛吹権三郎の墓がある長慶寺、賀茂春日神社の見学と道路のゴミ拾いを予定しています。今後、八代・境川地区、芦川地区での実施を予定しているとのことです。

また、「教員の資質や指導力向上の支援活動」では、校内研究会における講師の派遣および教育講演会や教育セミナーの開催などを予定しています。

塩山高校生の活躍

平成21年10月作成

相撲部山梨県代表として トキめき新潟国体で活躍

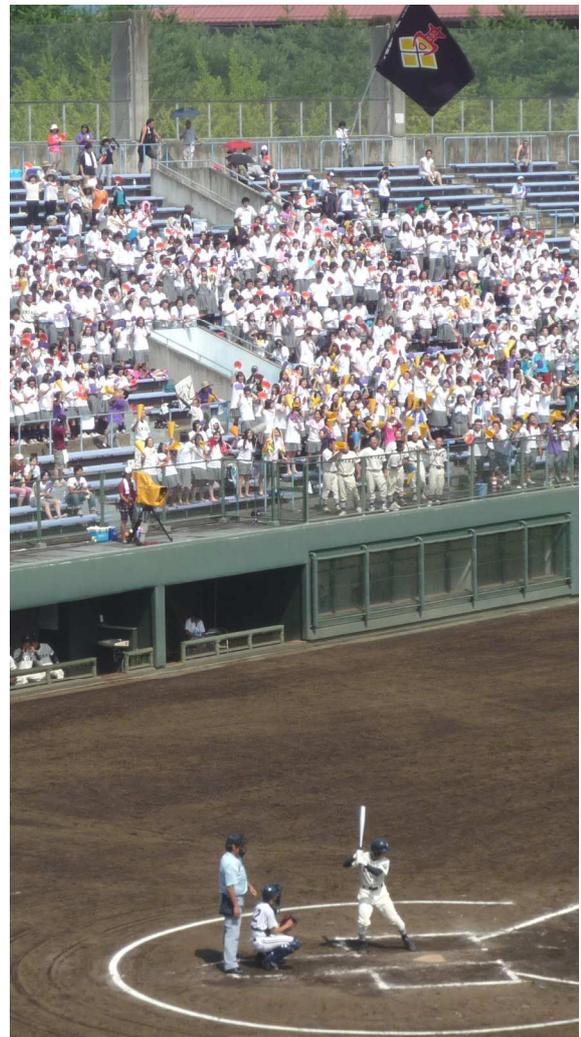
県内敵なしの常勝相撲部は、トキめき新潟国体に出場しました。相撲は日本の国技とされています。相撲の伝統的な雰囲気と迫力、力と技のぶつかり合う熱戦を繰り広げました。写真は、9月28日の新聞に掲載されたものです。
(山梨日日新聞社提供)



一回戦の山梨 - 福岡戦、懸命の攻防を展開する二年生、山梨県副将の楠くん

塩山野球部充実の秋 甲子園を目指すチームへ進化

夏の甲子園を目指した県大会でベスト8に輝いた野球部は、2年生を中心とした新体制で秋季関東高校野球山梨大会に出場しました。2回戦で上野原、3回戦で甲府西を相手に勝ちあがり、準々決勝では市川を破り、ベスト4に入りました。



校旗の下、熱い応援の小瀬球場、県立 1 塩山高校



現在塩山高校では、生徒、保護者、教職員による朝の挨拶運動を実施中です。また交通安全のために、校外指導も定期的に実施しています。生徒の安全運転の徹底を目指して行きたいと思います。